

# 第1回PTSD研修 A. 通常コース

## 1. 目的

本研修は、災害・事故・犯罪・児童虐待などのトラウマ的体験をされた方々に対して、基本的な精神保健医療対応（こころのケア）を提供する人材を確保するために実施されます。精神保健医療従事者等に対し、トラウマに対するこころのケアについての必要な知識を系統的に習得し、さらに実際のスキルを向上させるような内容が工夫されています。トラウマ反応の考え方、診断評価方法、初期対応、治療対応の基本を習得して頂きます。

この機会を積極的に活用され、日々の臨床にお役に立てて頂ければ幸いです。関係者の皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

## 2. 対象者

精神保健医療福祉業務に従事する医師、看護師、保健師、精神保健福祉士、公認心理師、臨床心理士等で、実際にトラウマの現場に関わっている方。

## 3. 研修期間

令和3年11月～12月頃（1日間）

\*詳細は8月以降に当センターホームページにてお知らせいたします。

\*第1回PTSD研修A.通常コースと第2回PTSD研修A.通常コースの研修内容は同一です。

## 4. 研修主題

災害被災者、犯罪・事故被害者、災害遺族、被虐待児童等、トラウマに対するこころのケアが必要な方に対応できる人材を確保するため、精神保健医療従事者等に対しトラウマに対するこころのケアにおいて必要な知識を系統的に習得する。

## 5. 課程内容

	(時間)
PTSDの理解とケア	(1.5)
PTSDのソーシャルワーク	(1.5)
子どものトラウマ	(1.5)
災害時のWHO版PFA（心理的応急処置:サイコロジカルファーストエイド）概論	(1.5)
合計	6時間

6. 定員 60名（予定） ※応募者多数の場合は選考

7. 申込方法・期間 WEB（所属長の推薦書が必要です）

8. 受講料 10,000円（予定）

9. 会場 国立精神・神経医療研究センター（予定）

## 第2回PTSD研修 A. 通常コース

### 1. 目的

本研修は、災害・事故・犯罪・児童虐待などのトラウマ的体験をされた方々に対して、基本的な精神保健医療対応（こころのケア）を提供する人材を確保するために実施されます。精神保健医療従事者等に対し、トラウマに対するこころのケアについての必要な知識を系統的に習得し、さらに実際のスキルを向上させるような内容が工夫されています。トラウマ反応の考え方、診断評価方法、初期対応、治療対応の基本を習得して頂きます。

この機会を積極的に活用され、日々の臨床にお役に立てて頂ければ幸いです。関係者の皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

### 2. 対象者

精神保健医療福祉業務に従事する医師、看護師、保健師、精神保健福祉士、公認心理師、臨床心理士等で、実際にトラウマの現場に関わっている方。

### 3. 研修期間

令和3年11月～12月頃（1日間）

\*詳細は8月以降に当センターホームページにてお知らせいたします。

\*第1回PTSD研修A.通常コースと第2回PTSD研修A.通常コースの研修内容は同一です。

### 4. 研修主題

災害被災者、犯罪・事故被害者、災害遺族、被虐待児童等、トラウマに対するこころのケアが必要な方に対応できる人材を確保するため、精神保健医療従事者等に対しトラウマに対するこころのケアにおいて必要な知識を系統的に習得する。

### 5. 課程内容

	(時間)
PTSDの理解とケア	(1.5)
PTSDのソーシャルワーク	(1.5)
子どものトラウマ	(1.5)
災害時のWHO版PFA（心理的応急処置:サイコロジカルファーストエイド）概論	(1.5)
合計	6時間

6. 定員 60名（予定） ※応募者多数の場合は選考

7. 申込方法・期間 WEB（所属長の推薦書が必要です）

8. 受講料 10,000円（予定）

9. 会場 国立精神・神経医療研究センター（予定）

# 第1回PTSD研修 B.応用コース

## 1. 目的

本研修は、災害・事故・犯罪、児童虐待などのトラウマ的体験をされた方々で、何らかの精神症状や社会心理的困難を持っている方々に対して、適切な専門的医療・社会心理対応ができる人材を確保するために実施されます。そのために、認知行動療法（持続エクスポージャー療法）による実際の治療事例を呈示し、患者の回復の可能性と経路を学習し、そうした回復に向けての治療と支援のあり方についてのグループディスカッションを行います。また、犯罪被害者支援を中心としたケースワーク、診断評価、最新の生物学的基盤、薬物療法などについても研修を行います。

この機会を積極的に活用され、日々の臨床にお役に立てて頂ければ幸いです。関係者の皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

## 2. 対象者

症例呈示のため、職業上守秘義務を持っている精神保健医療従事者（医師、看護師、保健師、精神保健福祉士、公認心理師、臨床心理士の資格を有する者）。過去にPTSDまたはその治療法に関する何らかの研修（本PTSD研修の「A.通常コース」など）を受講していること、あるいは専門的な教育を受けていること。

## 3. 研修期間

令和3年12月～令和4年1月頃（2日間）

\*詳細は8月以降に当センターホームページにてお知らせいたします。

\*第1回PTSD研修B.応用コースと第2回PTSD研修B.応用コースの研修内容は同一です。

## 4. 研修主題

精神保健福祉センター、病院、保健所等において、PTSDに関する専門家が必要とされていることを踏まえ、精神保健医療従事者等に対し、最先端の専門的知識あるいは技術の習得をさせ、有効かつ安全に治療を行うことができる人材を養成する。

5. 課程内容	(時間)
PTSDの診断と評価	(3.0)
PTSDの心理療法	(3.0)
複雑性悲嘆の心理療法	(3.0)
PTSDの神経科学と薬物療法	(1.5)
支援者支援	(1.5)
合計	12時間

6. 定員 60名（予定） ※応募者多数の場合は選考

7. 申込方法・期間 WEB（所属長の推薦書が必要です）

8. 受講料 20,000円（予定）

9. 会場 国立精神・神経医療研究センター（予定）

## 第2回PTSD研修 B.応用コース

### 1. 目的

本研修は、災害・事故・犯罪、児童虐待などのトラウマ的体験をされた方々で、何らかの精神症状や社会心理的困難を持っている方々に対して、適切な専門的医療・社会心理対応ができる人材を確保するために実施されます。そのために、認知行動療法（持続エクスポージャー療法）による実際の治療事例を呈示し、患者の回復の可能性と経路を学習し、そうした回復に向けての治療と支援のあり方についてのグループディスカッションを行います。また、犯罪被害者支援を中心としたケースワーク、診断評価、最新の生物学的基盤、薬物療法などについても研修を行います。

この機会を積極的に活用され、日々の臨床にお役に立てて頂ければ幸いです。関係者の皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

### 2. 対象者

症例呈示のため、職業上守秘義務を持っている精神保健医療従事者（医師、看護師、保健師、精神保健福祉士、公認心理師、臨床心理士の資格を有する者）。過去にPTSDまたはその治療法に関する何らかの研修（本PTSD研修の「A.通常コース」など）を受講していること、あるいは専門的な教育を受けていること。

### 3. 研修期間

令和3年12月～令和4年1月頃（2日間）

\*詳細は8月以降に当センターホームページにてお知らせいたします。

\*第1回PTSD研修B.応用コースと第2回PTSD研修B.応用コースの研修内容は同一です。

### 4. 研修主題

精神保健福祉センター、病院、保健所等において、PTSDに関する専門家が必要とされていることを踏まえ、精神保健医療従事者等に対し、最先端の専門的知識あるいは技術の習得をさせ、有効かつ安全に治療を行うことができる人材を養成する。

5. 課程内容	(時間)
PTSDの診断と評価	(3.0)
PTSDの心理療法	(3.0)
複雑性悲嘆の心理療法	(3.0)
PTSDの神経科学と薬物療法	(1.5)
支援者支援	(1.5)
合計	12時間

6. 定員 60名(予定) ※応募者多数の場合は選考

7. 申込方法・期間 WEB (所属長の推薦書が必要です)

8. 受講料 20,000円(予定)

9. 会場 国立精神・神経医療研究センター(予定)

# 第1回PTSD研修 C. 犯罪・性犯罪被害者コース

## 1. 目的

本研修は、犯罪・性犯罪被害を受けた方々に対して、心理社会的支援・治療を提供する人材を確保するために実施されます。精神保健医療従事者等に対し、こうした対応のために必要な知識を系統的に習得し、さらに実際のスキルを向上させるような内容が工夫されています。

この機会を積極的に活用され、日々の臨床にお役に立てて頂ければ幸いです。関係者の皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

## 2. 対象者

精神保健医療福祉業務に従事する医師、看護師、保健師、精神保健福祉士、公認心理師、臨床心理士等。実際にトラウマの現場に関わっている方。

## 3. 研修期間

令和4年1月～2月頃（1日間）

\*詳細は8月以降に当センターホームページにてお知らせいたします。

## 4. 研修主題

犯罪・性犯罪被害者への適切な対応を行うために必要な専門的知識と心理社会的支援・治療対応について習得する。

## 5. 課程内容

	(時間)
犯罪被害者のメンタルヘルスとケア・支援・行政制度	(1.5)
犯罪被害者遺族の悲嘆と心理的回復	(1.5)
犯罪被害者のPTSDと治療	(1.5)
子どもの性被害者の心理とケア・治療	(1.5)
合計	6時間

6. 定員 60名(予定) ※応募者多数の場合は選考

7. 申込方法・期間 WEB (所属長の推薦書が必要です)

8. 受講料 10,000円(予定)

9. 会場 国立精神・神経医療研究センター(予定)